



飛翔

学校だより No.13
水戸市立赤塚中学校
平成25年10月30日

合唱コンクールを開催しました

台風27号の影響が心配された合唱コンクールでしたが、予定通り開催することができました。多数の保護者の方にご来校いただきありがとうございました。

おかげ様で、各学級とも今までの練習の成果を発揮し、思い出深い1日となりました。また、今年度は新しい試みとして、午後に吹奏楽部のアトラクションを行いました。

課題曲は、1年生が「あの鳥のように」、2年生が「翼をください」、3年生が「風の中の青春」です。自由曲と結果は以下のとおりです。



1-1 怪獣のパレード



1-5 大切なもの



1-3 この星に生まれて



1-4 Let's Search For Tomorrow



1-2 COSMOS



2-1 明日へ



2-2 虹



2-4 心の瞳



2-3 HEIWAの鐘



3-5 友～旅立ちの時～



3-3 ある日ハチ族立ちに贈るメッセージ



3-2 証



3-1 手紙



3-4 YELL



アトラクション（吹奏楽部）



閉会式（3年表彰）

	金賞	銀賞	銅賞
1年	4組	3組	5組
2年	2組	3組	1組
3年	1組	4組	3組

	最優秀指揮者賞	最優秀伴奏者賞
1年	2組 益子 波奈	3組 松下 唯織
2年	4組 円 愛永	4組 嶋田 麻紀
3年	2組 小林 卓斗	4組 横山 烈生

全校集会（10/21）の学校長の話より

水戸市立赤塚中学校長 阿久津 聡

1 「むごい教育」について

「徳川家康」に関して、こんなエピソードがあります。

戦国時代の武将今川義元は、竹千代（後の徳川家康）を人質に取り、「こいつは末恐ろしい奴だ・・・」と感じ、その才能を見抜いていました。

義元は「竹千代には、むごい教育をせよ」と家来に命じました。

すると、養育係の家来は、竹千代に粗末な食事を与え、ほとんど休みなしで武術を教え込む生活をさせたのです。

これ聞いた義元は大変怒り、言いました。「厳しいと、むごいは違う。わしはむごい教育をせよと言ったのだ。竹千代には朝から晩まで、海の幸や山の幸あふれる贅沢なご馳走を好きなだけ与えてやれ。寝たいと言ったらいつでもいくらでも寝かせてやれ。夏は暑くないように、冬は寒くないようにしてやれ。学問が嫌だと言うならやらせるな。何事も、好き勝手にさせたらよい。そのようにすれば、だいていの人間はだめになる。」

一見、厳しいと見える教育は、「耐える」ことにより、人を強く、大きくしてくれます。

今日の表彰のように部活動で素晴らしい成績を取れた裏には、「厳しい教育」があったのではないのでしょうか。

勉強も同じこと。基礎確認テストをやったり、不合格者には再テストを実施、また昼休みや放課後に個別指導をやるのは、厳しいかもしれないが、皆さんの今後を考えての教育です。

1年や2年は職業調べや職場体験を実施します。3年は今、進路選択の重要な時期です。皆さんが、なりたい職業、入りたい高校を選ぼうとすると、基礎学力、数学や英語が必ず付いて回ります。自分の将来の進路を広げるためにも、今、しっかり学習に励みましょう。

通信表で1をとった人、数学の九九や英語の単語が苦手な人。決して恥ずかしくはない。恥ずかしいのはそのままにして大人になってしまうことです。

2 ヘルメットの着用について

みなさんは、誰のために自転車のヘルメットをかぶると思いますか？

自分のため、家族のため、自分を愛してくれるすべての人のため。その通りです。

実は、もう一つあります。それは、事故にあってしまったときの運転者のためです。

- ・生徒がヘルメットをかぶらなかったで死んでしまった。
 - ・車の運転者は軽くて免許取り消し、重ければ刑務所で数年服役します。
 - ・運転者の家族は生活に困ります。
 - ・もし、その運転者が皆さんのお父さんやお母さんだったらと考えてください。
- ヘルメットは自分だけでなく、相手をも守ることになります。

赤塚中学校区親善交流会

10月27日（日）に本校体育館で、赤塚中学校区親善交流会が開催されました。

この交流会は、赤塚中学校区の3つの小学校（河和田小、上中妻小、赤塚小）の6年生が相互の親睦と交流を深めることを目的として、各地区の子ども会育成連合会やPTAの主催で昨年度から行われている行事です。

今回も、3小学校から約80名の6年児童が参加し、ミニレクやスポーツ鬼ごっこを楽しみました。

